

2022年12月22日  
エア・ウォーター株式会社

## CDP「気候変動」「水セキュリティ」で「A- (A マイナス)」の評価を獲得

当社は、12月13日に国際的な環境非政府組織 CDP より「気候変動」と「水セキュリティ」の2テーマで、先進的な活動を行っているリーダーシップレベルの「A-」の評価を受けましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. CDP のスコアについて

CDP は 2000 年に英国で設立された、企業や自治体を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する環境非政府組織 (NGO) です。グローバル企業等を対象に、温室効果ガスの排出削減や水資源保護、森林保全に関わる質問書への回答を要請し、回収した回答を基に 8 段階 (A、A-、B、B-、C、C-、D、D-) で評価を実施し、公表しています。2022 年は運用資産規模で 130 兆米ドルに達する 680 以上の機関投資家などと協働し、世界の時価総額の半分に相当する 18,700 以上の企業と 1,100 以上の自治体を含む世界各地の約 20,000 の組織が CDP を通じてデータを開示しています。

#### 2. 当社グループの環境への取り組みについて

当社グループは持続可能な成長と社会価値の両立を実現するため、2050 年をゴールとするサステナブルビジョン「地球、社会との共生により循環型社会を実現する」をベースに中長期的な企業価値向上に取り組んでいます。2021 年 10 月には「エア・ウォーターグループ環境ビジョン 2050」を制定し、「脱炭素社会」「資源循環型社会」「人と自然の共存社会」の実現に向けて、グループ全体で活動を推進しています。

こうした中、気候変動に対して、当社グループは事業活動でのカーボンニュートラルの達成はもとより、サプライチェーン全体でも脱炭素化を目指しており、2030 年度に温室効果ガス排出量 (Scope1+Scope2) を 2020 年度対比 30%削減する目標を設定。さらに、技術革新への普段の取り組みや CO<sub>2</sub>回収、再生可能エネルギーの利活用などを通じて社会のカーボンニュートラルの実現に貢献します。また、当社グループは 2021 年 8 月に TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言への賛同を表明するとともに、「TCFD コンソーシアム」に参画。2022 年 3 月に、同提言に沿った情報を開示しました。

水セキュリティについては、淡水資源を有効に活用することを目的に水使用量原単位 (売上高当たりの淡水使用量) の 2030 年度目標を 21 年度対比 10%削減に設定し、「取水量の削減」「冷却水・洗浄水の再利用化」「生産プロセス改善」を基本方針として取り組んでいます。

今回の「A-」獲得は、このような当社グループの環境に対する取り組みが高く評価されたものと考えます。今後も、サステナブルビジョンの実現に向けて、グループ全体で環境へ貢献する取り組みを推進していきます。

以 上

—— 【本件に関するお問合せ先】 ——

エア・ウォーター株式会社 広報・IR 推進室 E-mail : info-h@awi.co.jp

TEL : 06-6252-3966 〒542-0081 大阪市中央区南船場 2 丁目 12 番 8 号